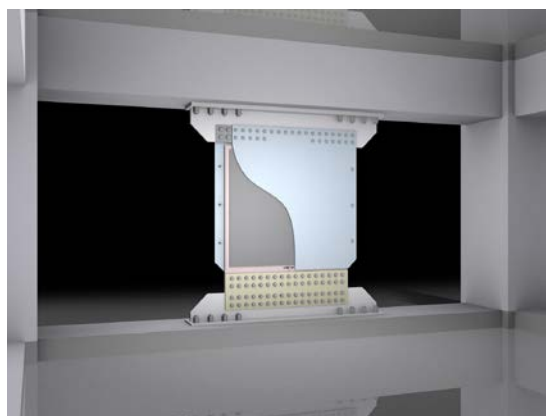


住友理工、「第16回世界地震工学会議」に出展

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 社長兼 COO：松井徹）は2017年1月9日（月）から、チリ・サンティアゴで開催される「16th World Conference on Earthquake Engineering（第16回世界地震工学会議）」にビル用制震システム「TRCダンパー」を出展します。



ビル用制震システム「TRCダンパー」

「TRCダンパー」は、オフィスビルやマンションなど高層ビルの地震対策に有効な制震装置です。創業以来培ってきた高分子材料技術を生かし開発した特殊粘弾性ゴムを採用しており、薄くコンパクトながら、地震発生時には地震の揺れを熱に変換し建物を守ります。繰り返しの地震（余震）にも効果を発揮するのが特長です。

当社は、2008年よりビル用「TRCダンパー」を海外で販売開始。現在は台湾や中国で100案件以上の採用実績があり、国内外での拡販を推進しています。

世界地震工学会議は、地震工学における世界最大規模の国際会議で、世界各国の地震工学関係者約4,000人が参加します。今回の展示ブースでは、ビル用「TRCダンパー」に加え、橋梁用ゴム支承などを展示し、業界のオピニオンリーダーに当社の地震対策製品の特長や魅力をPRし、また、彼らとのコネクションを構築することで、グローバル拡販を一層加速させます。

<開催概要>

会議名	16th World Conference on Earthquake Engineering (第16回世界地震工学会議) http://www.16wcee.com
会期	2017年1月9日（月）～13日（金）
会場	CASA PIEDRA CONVENTION CENTER（チリ・サンティアゴ）

以上